

童

2022年5月30日。

大地は、すっぴりと緑に包まれ、美しい光景を醸し出しています。子ども達が蒔いたジャガイモも、ぐんぐん芽を出し始め、樹木の新芽が伸び、まさに躍動感溢れる毎日です。

連休明け、本格的に、リズムある大地ライフが始まりました。連日の好天のお陰で、朝の会はコンスタントに焚き火コーナーで行われ、たっぷりと外遊びを楽しんでいます。この時期恒例のオタマジャクシ田んぼで、ドロドロになって遊び、子ども達の手には、連日、ノビルや蛙 カネチョロが握られている毎日。 わらべ歌を口ずさみ、にじみ絵も始まりました。

おおぞらさんも含めて、30名の子ども達です。年少児の比率が高く、わいわいガヤガヤする雰囲気ですが、実は、穏やかに落ち着いています。おおぞらさんや年長児達が穏やかだからです。特に、おおぞらさんは、仲間同士も仲が良く、大好きな大地を楽しんでいるので、満足しているだけに、皆に対して余裕を持って穏やかに接してくれています。大地の考えですが、やはり、9歳位までは、移行期として、徐々に客観的世界へと、こんな暮らしをしていくことが必要だと、子ども達を見ていて感じます。

お隣の牧場のスタッフ駐車場が、大がかりの工事で、全面アスファルト舗装されていました。この冬、よくクロカンで子ども達が通った道ですが、それまでの砂利道から様相が一変しました。それだけに、大地は、見渡す限り、土やチップの道です。連日の散歩も、カネチョロの土手を歩く以外、ほとんど土の道で暮らしています。これだけ、土の道を歩いている子ども達は、貴重です!! しかも 地下足袋姿は、トレッキングや登山など 特別な機会でも土道を歩くことがあっても、日常の暮らしで 土道を歩くことは、これからは (現在もそうですが) とても貴重になってくると思います。小さいときに、この貴重な感覚 体験を積んでおきたいと思っています。大地は 文字通り 土の大地を守っていきます。

草や樹木や森や林の管理 畑や田んぼの維持管理など、これらも 子ども達の目の見えるところで、子どもと共に、例え利他的であっても、一緒の世界で楽しんでいける大人 子ども社会で有り続けたいと思います。



【エネルギー自給】

コロナや原油や穀物価格の上昇のお陰で、すっかり外出や車利用が減りました。5月からは、林檎の摘果作業に楽しみを見だし、夫婦で毎朝5時半から7時まで、鳥の鳴き声を聞きながら、静寂な林檎畑の朝を楽しんでいます。大地のあちこちのリニューアルや細々した手直し、ののほな文庫の改装、畑や田んぼの作業、五右衛門風呂の利用回数、台所での豊かな食卓作り 読書の時間増加 ガンガーでの料理 蕎麦打ち などなど。大地で暮らす豊かさを満喫する毎日です。

ガソリン 軽油 灯油等が値上がり、暮らしの工夫をしていく必要があります。これらは、暮らしの豊かさをマネージメントする面白さにつながります。青山家では、「ただでは 車を使わない」どうせ出かけるなら、いくつかのことを同時にできる用があるまで待つ、近いところは (長野市も含む) 原付か自転車で回る、蛇口では お湯をほとんど使わない。お風呂は、五右衛門風呂で、自宅の風呂は、全く使わなくなりました。五右衛門風呂には、シャワーもないので、風呂の湯で、全てすませます。まあ、風呂は 3日に一回ぐらいですが。冬の暖房は、石油ストーブがないので、灯油は必要なし。

冬が終わり 薪ストーブを焚かなくなったので、一時凝っていたスイーツ作りも中止。(薪ストーブのオーブンで作っていたので、今更ガスオーブンを使ってまで作る必要なし) ガンガーの竈や石窯はフル回転ですが。

文庫の屋根の太陽光パネルは、文庫のみならず、大地の電気のほとんどを賄ってくれます。(3月中旬から11月中旬まで) 電気は できるだけ節電して、暗くなるまで容易に明るくしない。早く寝る、朝は 明るくなると共に活動する。などなど、暮らしをマネージメントするに連れて、新しい落ち着いた身近な場所で豊かさを味わえる機会が再発見できます。それが、シェアする社会 協働社会 お互いに便乗する社会 仲間でコミュニティを作って楽しむ社会になるでしょう。

例えば、友達と一緒にキャンプに出かけるとするならば、それぞれの車ではなく、ぎゅうぎゅう詰めでも同乗していく (これだけで子ども達は大喜び 仲間意識も生まれる) キャンプ用品もシェアして、皆で作る楽しむ。こんな事だけで、エネルギーが節約でき、それ以上に、よい仲間が増えていく。これからは 個体としての 点としての家族ではなく、面としての家族同士の付き合いが、将来お互いの子どもを見守り続けていける事につながると思います。その意味で、今こそ、気心知れてシェアできる協働コミュニティを作っていく絶好の機会だと思います。

5月22日付けの信毎に、森永卓郎さんの的を得た記事がありました。「ZEHと薪ストーブを標準に」というテーマでした。エネルギー自給に向けて、0 エネルギーの住まいと家庭菜園 を組み合わせれば、原油や穀物価格の上昇にも振り回されずにすむ暮らしができる、 ということです。大都市を捨てて 薪のある地方に住もう、長野県こそ、そのモデルになろうと呼びかけています。

2035年には、ガソリン車が新車販売禁止となり、電気自動車が主流になるでしょう。でも、その電気は、化石燃料で作った電気を使っている現状では意味がありません。やはり、太陽パネルの蓄電池で自給していくことが必要になります。雪の多い長野県では、冬のパネルは厳しくなりますが。その分、薪ストーブで、暖房や化石燃料を節約して、少しでも、化石燃料の節約や温暖化環境対策をしていく必要があると思います

ただ、偉そうな事が言えないのは、薪ストーブの薪を自給するには、チェーンソーや薪割り機に頼っていることです。その機械は、化石燃料を使って動かしているだけに……。その機械も、毎日使うのではなく、一年に数回だけであることが多いですね。やはり、これらもシェアして、皆で使う。皆でわいわいと薪作りも楽しむと言うことでしょうか。正直 薪作りは 大変な重労働です。伐採 引き出し 玉切り 薪割り 運搬 積み上げ そして機械購入までやるとなったら、その手間暇労力資金を考えたら、灯油の方が安い!! それでも、その暖かさの豊かさと地球環境を考えたら。

「便利さと効率化の追求と真の豊かさは 反比例する 特に 子どもの世界は」 これは 大地創業時からの持論です。地面が舗装されたら、大地の横にコンビニができたら、園舎の横に大きな保護者の皆さんの駐車場ができたら、広い道路ができたら、自動販売機を設置したら、オール電化にしたら スマホで出欠席管理したら……………

国家間の戦争の源は ほとんどエネルギーの奪い合いだったりするものです。それも、便利さと効率化 効率化 追い求める、他人依存する豊かさ サービスを求める快適さへ欲求などが、精神の底辺にあるように感じます。

下手くそでもいいから、自分でやってみよう チャレンジして見よう。「自分でやった失敗は 自分のドラマになるけれども、他人に依存お願いした失敗は、批判と文句になる」 青ちゃんは ドラマが多すぎて 豊かです!!